

**製品名: CDKN1A マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82580**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	18.1kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CDKN1A
別名	P21; CIP1; SDI1; WAF1; CAP20; CDKN1; MDA-6; p21CIP1
遺伝子 ID	1026.0
SwissProt ID	P38936
免疫原	大腸菌で発現したヒト CDKN1A (AA: 1-164) の精製された組み換え断片。

**背景**

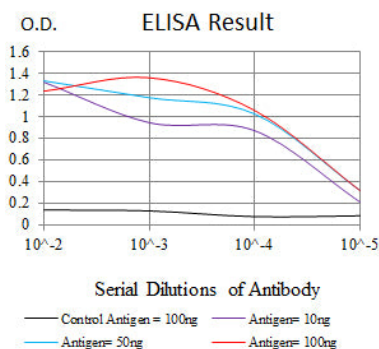
この遺伝子は強力なサイクリン依存性キナーゼ阻害因子をコードしています。コードされているタンパク質は、サイクリン-サイクリン依存性キナーゼ 2 またはサイクリン-サイクリン依存性キナーゼ 4 複合体に結合してその活性を阻害し、細胞周期 G1 期の進行を調

節する役割を果たします。この遺伝子の発現は腫瘍抑制タンパク質 p53 によって厳密に制御されており、p53 を介して、様々なストレス刺激に反応して p53 依存性細胞周期 G1 期停止を誘導します。このタンパク質は、DNA ポリメラーゼ補助因子である増殖細胞核抗原と相互作用し、S 期 DNA 複製および DNA 損傷修復において調節的な役割を果たします。このタンパク質は CASP3 様カスパーゼによって特異的に切断されることが報告されており、その結果、サイクリン依存性キナーゼ 2 が劇的に活性化され、カスパーゼ活性化後のアポトーシスの実行に重要な役割を果たす可能性があります。この遺伝子を欠損したマウスは、損傷または欠損した組織を再生する能力を有します。この遺伝子には複数の選択的スプライシング変異体が見つっています。

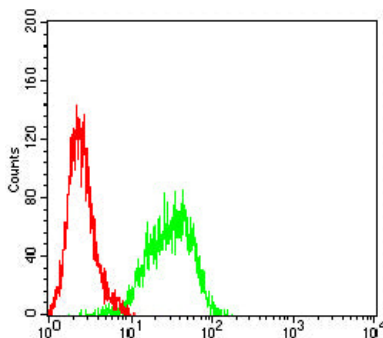
## 研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路

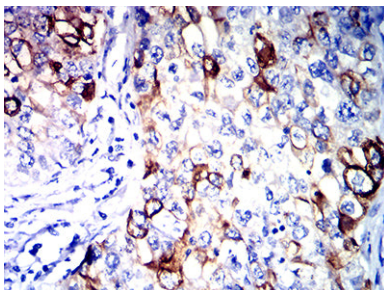
## 画像データ



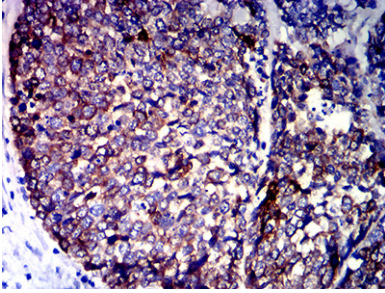
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CDKN1A マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CDKN1A マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CDKN1A マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。